学校番号	１０８

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ１」　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、実技演奏（歌唱・器楽）だけでなく創作・鑑賞といった座学的な内容も多く学習します。またそれぞれの内容について、演奏上の工夫や作品の意図・構造などを個人・グループで協働して考え、発表してもらう機会も設けます。いずれの活動についても、積極的・協力的に参加してください。
・授業で配布する楽譜やワークシート等を保管するため、ファイルを用意し、毎時間忘れず持参してください。演奏上の発想や注意点、ワークシートの課題成果等は紛失すると取り戻すことができません。
・高校での授業を終えても、社会から音楽がなくなることはありません。生涯を通じて音楽に親しみ楽しめるよう、技能や思考、音楽的な見方・考え方を身に付けてください。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することをめざす。

（１）　曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

（２）　自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

（３）　主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。知識 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。技能	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽表現を創意工夫したり音楽のよさや美しさを味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	表情豊かに歌おう	【歌唱】 校歌 Ave Maria 'O sole mio	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b:歌詞の意味、リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート
	身体を使って表現しよう	【器楽】 Clap, Tap with CUPS!	a:【知】曲想と奏法や音色との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 b:音色、リズム、速度、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:曲想と奏法や音色との関わりに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート
	音楽の美しさを探ろう	【鑑賞】 組曲《動物の謝肉祭》 交響曲第９番《合唱付き》	a:【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 b:音色、旋律、テクスチュア、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	ワークシート	ワークシート 発表	

			c:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり及び音楽の特徴と文化的･歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的･協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。			観察 ワーク シート
2	和楽器に親しもう	【器楽】三線 ・涙そうそう ・てぃんさぐぬ花 【鑑賞】 箏曲《みだれ(乱輪舌)》	a:【知】曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 b:音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。また、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、及び音楽表現の共通性や固有性に関心をもち、主体的・協働的に器楽･鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワーク シート 演奏の 聴取	ワーク シート 演奏の 聴取	観察 ワーク シート
	世界の様々な音楽に触れよう	【鑑賞】 アジアの様々な音楽 日本に伝来したアジアの楽器	a:【知】各地の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 b:音色、旋律、テクスチュア、強弱、形式を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:各地の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び音楽表現の共通性や固有性に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワーク シート	ワーク シート	観察 ワーク シート

	器楽アンサンブルを楽しもう	【器楽】 小さな恋のうた RPG 君に届け　など	a:【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】他者との調和を意識して演奏する技能､及び器楽アンサンブルの表現形態を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 b:音色、リズム、速度を知覚し、それらの働きを感受しながら､知覚したことと感受したこととの関わりについて考え､どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c: 曲想と楽器の音色や奏法との関わり､及び他者との調和や表現形態を生かして演奏することに関心をもち､主体的･協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート
3	豊かな声で合唱しよう	【歌唱】 いのちの歌 言わない いつか、海へ 　など	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 【技】他者との調和を意識して歌う技能､及び表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 b:音色、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら､知覚したことと感受したこととの関わりについて考え､どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞、表現形態の特徴及び各パートや指揮者の役割に関心をもち、主体的･協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート
	発音や発声を工夫して創	【創作】 「オノマトペでリズム・アンサンブルをつくろう」	a:【知】曲想と声の響き、音型などとの関わりについて理解している。 【技】反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け､創作で表している。 b:音色、リズムテクスチュア、強弱、構成を知覚し､それらの働きを感受しながら､知覚したことと感受したこととの関わりについて考え､どのように音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	ワークシート 作品	ワークシート 発表 作品	

	作しよう		c: 曲想と声の響き、音型などとの関わりについて関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。			観察 発表 ワーク シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度